

農業委員会だより

編集・発行
狛江市農業委員会
狛江市和泉本町1-1-5
☎03-3430-1111

平成20年度顕彰 受賞者紹介

農業関係で次の方々がそれぞれの賞を受賞されました。おめでとうございます。これを契機に今後ますます農業に精進されますよう切望いたします。

第28回農業後継者顕彰



間鍋陽さんとその家族

東京都知事賞 東京都農業会議会長賞

駒井支部 間鍋 陽

バラ、菊、ユリなど花の主要品目から草花、花木、葉物まで通年出荷を目的に作付けしています。また、家族経営協定について具体的に話し合いが行われ、農業経営における立場・役割分担を

明確に行うなど、経営の近代化を目標に実践しています。地域では、青年部など後継者の集まりや農業分野に限らず積極的に参加しています。さらに、今回は特別賞であります東京都知事賞に輝くなど、優秀な

農業後継者です。今後の活躍が期待されます。

農業功労者表彰

山谷支部 高橋 登



農業・農業経営者の利益代表機関である農業委員会委員として、平成11年から農政部長、農地部長、調査部長を歴任されました。地域と一体となって農業が守れるよう、生産農家と市民とのパイプ役を務めるなど地域農業の振興に尽力されました。その功労に対し感謝の意を表すため表彰されました。

北多摩地区農業委員会連合会 優秀農業経営者表彰

共栄支部 谷田部正美



常に「地域に必要な農業者」をモットーに、子ども農業体験塾、農産物の直接販売を通して、消費者との交流や情報交換を積極的に行っています。経営は枝豆、茶豆、茶豆風味などを中心に作付け、さらに新作野菜などの情報を参考に新品種の研究に取組むなど、農業経営改善の充実に貢献が認められての受賞です。

(敬称略)

農業委員の改選がありました

平成20年7月19日の任期満了に伴う農業委員の改選で、選挙による委員9人が選ばれました。

また、市議会が推薦した1人、マインズ農業協同組合が推薦した1人がそれぞれ市長から選任され、新しい11人の農業委員が誕生しました。任期は平成23年7月までの3年間となります。

がんばっています 新農業委員になって

共栄支部 谷田部英雄委員
昨年、農業委員の改選があり、地元の推薦をいただき立候補したところ

無投票当選で農業委員のメンバーに加えていただくことができました。

農業委員の仕事には法令に基づく届出の仕事がありますが、経験の無い者にはわからないことが多いもので五十の手習いで一生懸命勉強しています。

混迷し変化する時代に何か地域のために役立ちたいと考え頑張っています。先代と違いますので、先輩諸氏、また地域の農業を考える多くの皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

和泉支部 荒井 正委員
昨年7月の農業委員改選に伴い、選挙により委員に選ばれ、はや7ヶ月

が経ちました。その間農業委員新任研修会、9月には初めて農地パトロールに参加させていただきました。

農業委員の仕事として、有機農業・減農薬栽培の推進を図り、新鮮で美味しい野菜を学校給食に供給できたらと思います。これからも、現実を踏まえて地域農業発展のために微力ながら努力したいと思えます。

昭和支部 栗山義一委員
平成20年9月に新任農業委員を対象にした研修会に参加させていただきました。あまりにも豊富な研修内容のため全てを習得できませんでしたが、農業

委員として活動するための基本的事項が研修できたことは大変有意義でした。今後は、地域農業振興の世話役として研修で学んだ事を生かしていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

農業委員会委員の勉強会



平成20年9月19日、市役所会議室において、東京都農業会議の田中誠さんを講師に迎え勉強会を開催いたしました。講義内容は、「認定農業者制度と農業委員会の

役割について」をテーマに現在農家が直面している問題点と農業委員会がどのような体制で推進していくのかを解説していただきました。今後の農業委員会活動に役立ててまいります。

農地を無断転用してませんか

農地の転用とは、農地にアパートや倉庫などを建設したり、駐車場や資材置き場にするなど、人為的に農地を農地以外の用地に転換する事をいいます。

農地を農地以外にする場合には、農地法の届出が必要になります。詳しくは農業委員会へご相談ください。

内田農業振興会
紫綬功労表彰

農業委員会前会長
覚東支部 高木 光雄



永年にわたり農業に従事するとともに、氏の献身的な行動力と誠実な人柄はマインズ農業協同組合理事を9年間、農業委員会委員を平成2年から18年間、その内6年間を会長として、農業の重要性、自然環境への貢献、美しい景観など、狛江農業の発展及び地域振興の向上に優れた功績がありました。
(敬称略)

農業者&消費者交流
セミナーに参加しました

平成20年12月4日に農

業経営者クラブ及び東京都農業会議が主催で行われました。当日は簿記講習会受講生の女性農業者と農業委員7人が参加しました。前半は元TBSアナウンサーの見城美枝子さんが「食と農のパートナーシップ」をテーマに講演され、後半では「食と農を結ぶ〜東京で地産地消〜」をテーマにパネルディスカッションが行



われました。

「農業福祉」を実践されている女性農業者の事例報告や農業者は学校給食や体験農園に参加したいが「時間が足りない」と具体的に話された女性農業者さらに消費者代表のパネラーからは屋敷林も農地の一部ですとエールを戴き拍手喝采を浴びていました。とても有意義なセミナーでした。

参加してみて

見城美枝子さんの講演は、世界を見てきた視点で日本の農業について語られてとても有意義でした。特に日本の農産物がいかに安全で素晴らしいかを改めて認識させられたと同時に、私たちはもっと自信を持って良いのではないかと思います。
後半のパネルディスカッションでは、東京の農業が消費者と直結しているんだということが良く解りました。

狛江の皆さんも、安心して地場産野菜をたくさん食べていただきたいと思います。
(井上利江さん・小川美登利さん・栗原静枝さん)

お得です 農業者年金

たとえ、1ヶ月でも積立てた年金は将来受給できます。詳しい内容は事務局まで

加入できる人は？

- 国民年金第1号被保険者
- 農業に年間60日以上従事する者
- 20歳以上60歳未満の者

簿記記帳講習
受講者募集

農業委員会では、東京都農業会議から講師を招いて、毎月1回簿記記帳講習会を開催しています。複式簿記の基礎から、パソコンによる確定申告書の作成までを初歩から学びます。希望される方は各農業委員若しくは事務局に連絡してください。

就任あいさつ



会長 小川 昭治

平成20年7月22日に開催された、改選後初めての農業委員会では委員各位のご推挙により会長に選出されました。私にとりましては、身に余る光栄であると同時に責任の重大さを痛感しております。委員各位のご協力を賜り、職務を遂行していく所存です。

今、都市農業の抱えている問題は農地の減少、農業者の高齢化、税制問題、農業後継者不足など

多岐にわたり、依然として農業を取巻く環境は厳しい状況であります。農業者をはじめ市民、マインズ農業協同組合などの皆様のお力添えを戴きまして、狛江農業の振興に努めて参りますので、今後とも農業委員会活動に一層のご支援をお願いいたします。



駒井支部 松坂 久一
(議会推薦) 農政部長



富永 和身
会長職務代理



猪方支部 小川 芳文
農地副部長



岩戸支部 久野 俊明
農地部長



共栄支部 谷田部英雄
農政部員



和泉支部 荒井 正
農政副部長



昭和支部 栗山 義一
調査部員



原・山谷支部 大久保哲夫
調査副部長



松原支部 大久保 蕃
調査部長



和泉支部 本橋 文武
(農協推薦) 農地部員

編集後記
昨年2月に続く第2号です。創刊号では、農業経営や農業生活に関すること消費者とともに歩む農業委員会の姿をアピールする目的で編集いたしました。
配布後、読売新聞では「瓦版」、朝日新聞では「市民の目線に立った手作りの広報誌」との記事が掲載されました。農業者からは「カラーだし、記事も身近だし、読みやすい」ので是非続けてほしい…、その事が励みになりました。今後も経営や暮らしに役立つ「農業委員会だより」となるよう私共もがんばります。ご質問、ご意見ご要望をどしどしお寄せ下さい。(編集委員一同)